

北海道NPO情報



NPO推進北海道会議
北海道NPOサポートセンター
北海道NPOバンク
北海道NPO越智基金

発行 北海道情報宣伝研究会
札幌市中央区北4条西12丁目
1976年7月9日第3種郵便物認可
定価 100円

【2005年4月号】

市民活動を支える制度を強化しよう！



もくじ	ページ
NPO労務管理講座/NPOと自治体講座案内	2
年度末事務講座/「介護事業所」事例研究会	3
川北氏の協働研修会報告/NPO関連予算公開学習会報告/ コミュサポ交流会報告	4~5
NPO起業科団塊世代向けコース案内/コラム/総会予告	6
研修日誌/NPOバンク融資申込/法人数/福祉NPO研修会案内予告	7
まちづくり読本/札幌市介護事業所ガイドブック/推進会議10周年	8
NPOサポート事業紹介	9
NPOな・・・(書籍・イベント紹介)	10
情報BOX(イベント案内)	11~12
助成金情報	12



NPO会計講座 (夜の部)のご案内 5月13日スタート

《決算書作成アドバイス付き》

毎回ご好評いただいている会計講座のご案内です。簿記の基礎から日常会計処理、会計ソフトを使った仕訳、決算書作成などを学びます。今年度最初の会計講座です。これから法人会計をスタートする団体あるいは、いま会計事務を担当していて困っている方など、ぜひこの機会をご利用下さい。

日時 5月13日、20日、27日、6月3日、10日(毎週金曜日 全5回)
午後6時~8時

場所 北海道NPOサポートセンター 研修室
(札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8F)

講師 小沼 千佳子
(北海道NPOサポートセンター会計担当)

定員 10名程度(最小催行人員3名)


受講料 10,500円(税込み、初回納入)

申込 FAX 011-281-8807
Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp

FAXかEメールで、団体名・参加者名・連絡先電話番号・使用している会計ソフト名(すでに使用している場合のみ)を記入のうえ、上記番号、アドレスへ送信下さい。

締切り 5月9日(月)必着

問合せ 011-271-5208(山本)



【講習の概要】
簿記の基礎を学び、実際に仕訳の練習問題(振替伝票記入)をやってみます。
講習時に使用する会計ソフトは、「会計王5NPO-Limited」です。ソフトの扱い方を中心にパソコン入力もたくさん練習します。最終的には決算書を作成し、財務諸表の見方などを学びます。今回は講習中に、団体それぞれの個別質問に対応する時間を用意して、それぞれの団体の事情に合わせたアドバイスができるよう工夫します。

「NPO労務管理講座」

わかりやすくしてシビレます！



はじめて人を雇ったとき・・・

何を用意して、どこに何の手続きをしたらいいの？

社会保険は必ず入らなければダメなの？

保険料はどのくらいかかるの？ etc.

もうすぐ人を雇用する予定の法人や、日常の労務管理に不安がある団体に“必須”の講座です。

【日時】4/25(月) 13:30～16:00

【講師】小神 英男(社会保険労務士・行政書士)

《NPOとのかかわり》

- ・NPO 起業科コース「社会保険労務管理」講師
- ・日本NPOセンター主催講座「就業規則について」講師
- ・北海道NPOサポートセンター主催講座「NPO法人の労務管理」講師
- ・コミュニティ・ビジネス運営 札幌地域労務管理支援事業 責任者
- ・NPOサポート専門家会議メンバー

【場所】北海道NPOサポートセンター研修室
(札幌市中央区北5条西6丁目2 札通ビル8F)

【定員】20名

【参加費】1回1,050円(消費税・資料代込み)

【問合せ・申込み】団体名、氏名、年齢、連絡先電話番号
を下記FAX、Eメールまで。

北海道NPOサポートセンター

FAX 011-281-8807

Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp

【締切】4/20(水)

開催間近！ ミニ土曜講座～地方自治とNPO～のご案内

地方分権の時代を担う自治体職員の能力開発に資することを目的に、1995年から行われている「地方自治土曜講座」には、全道各地の自治体職員を中心に毎年約350名が参加されます。そこで、このミニ土曜講座では、地方自治土曜講座から3名の実行委員をお招きして、NPOと自治体とのかかわり方や市民参加のあり方など、NPOが地方自治において担う役割を考えてみたいと思います。本業は札幌市職員であるみなさんからどのような提案がなされるのか、非常に興味深いところです。ぜひご参加下さい。

(主催：北海道NPOサポートセンター)

【日程、講師、講演タイトル】

4/9(土) 酒井智美さん 「自治体アウトソーシングの進展とNPO」

4/16(土) 渡辺三省さん 「議会への市民参加の可能性
～市民、NPO等との連携と緊張関係の間で～」

4/23(土) 長谷部英司さん 「機能的な参加型評価のあり方」

【場所】北海道NPOサポートセンター研修室

(札幌市中央区北5条西6丁目2 札通ビル8F)

【時間】いずれも 13:00～15:00

【定員】各回20名 【参加費】1回500円(3回通し1,000円)

【問合せ・申込み】団体名、氏名、年齢、連絡先電話番号、講座番号(4/9は、4/16は、4/23は)をお書きの上、下記FAX、Eメールにてお申込み下さい。

北海道NPOサポートセンター

FAX 011-281-8807 Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp

NPO法人のための「年度末事務講座」のご案内

所轄庁では、ホームページ上で報告書の提出状況や内容を公表するなど、徐々にNPO法人への監督を強化する事例が増えています。特定非営利活動促進法では、情報を公開することで市民によるチェック機能を重視することをうたっています。事業報告書の提出という「説明責任」をしっかりと果たしたいものです。

そこで、このNPO法人のための年度末事務講座では、総会で法人としての情報共有と合意形成をはかり、所轄庁へ事業報告書を提出し、法務局で変更登記の申請をするという、年度末事務の一連の流れをすべてひとつに詰め込みました。多くの皆さんに受講していただくために同じ内容の講座を日にちを変えて2回行います。この機会にぜひご参加下さい。

日時 / 2005年4月18日(月) 10:00~15:00

2005年5月9日(月) 10:00~15:00

場所 / 北海道NPOサポートセンター研修室
(札幌市中央区北5条西6丁目2 札通ビル8F)

スケジュール / 10:00~11:00 総会運営

(小林董信 北海道NPOサポートセンター事務局長)

11:00~12:00 事業報告書作成

(山本純子 北海道NPOサポートセンター 法人申請担当)

13:00~15:00 変更登記(大滝和子 司法書士)

受講料 / 3,150円(消費税・資料代込み)

問合せ / TEL 011-271-5208 (担当 山本・松本)

申込み / 団体名・受講者氏名・連絡先電話番号・法人成立日を書いて下記まで。

FAX 011-281-8807 Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp

締切 / 4月11日(月) 5月6日(金)

事例研究講座 ~ NPOが運営する介護事業所 ~

NPO法人で指定介護事業所を運営する団体が増えています。

なぜNPO法人を選択したのか? 地域に根ざした事業所とは? 利用者とともに作る事業所とは? 特定非営利活動促進法や介護保険法など理解すべき法律やしゅみ、書類作成、運営方法など、実際に介護保険の事業所を運営されている3人にお話を伺います。

日時 / 講師	5/16(月) 在宅サービスどさんこ	理事長	天野 祐子さん
	5/23(月) 介護グループむらさき	理事長	米田 久美子さん
	5/30(月) ケアグループみらい	理事長	谷口 道德さん
	いずれも		18:30~20:30

場所 北海道NPOサポートセンター 研修室
(札幌市中央区北5条西6丁目2 札通ビル8F)

対象者 NPO法人で介護事業所立ち上げを考えている方
または、すでに介護事業所を始められた団体の方

参加費 各回 500円(3回通し1,000円) *当日払い(3回通しは初回まとめて)

申込み 団体名(所属先がある場合)、参加者氏名、連絡先電話番号、予定している事業所サービス(例えば、訪問介護・通所介護・支援費居宅介護等)を書いて、

FAX 011-281-8807

Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp までお申込下さい。

締切 各回とも 講座日の2日前(土曜日)まで

問合せ 011-271-5208(山本)

川北秀人さん「協働の環境をどう育てるか」研修会報告

3月9日(水)10:00~15:00 北海道NPOサポートセンター研修室でHHOE【人と組織と地球のための国際研究所】代表の川北秀人さんを講師に迎え、研修会を行いました。参加者は北海道・札幌・石狩・江別・函館の自治体職員等15名、NPO関係者等15名。

『都道府県、主要市におけるNPOとの協働環境に関する調査』の報告と、協働とは?その正しい理解について、午前中は講義、午後は講義についての感想・質問に川北さんがコメントを述べるかたちで行われました。

協働についての行政とNPO双方の誤解をまず明確にすること。

行政改革=財政改革ではない。コスト削減のために悪用されかねない。行政改革と住民参加の観点から協働が不可欠というなら、住民が参加することで行政・公共サービスのクオリティとスピードが向上することを確認して協働に取り組んで欲しい。

NPOは継続のための資金や委託事業を欲するが、国も自治体の財政も良くはならない。今後、97~99年の国債増発の返済に向けて、財務省は歳出を切り詰めたい。税源移譲してでも国から国債で面倒見なければならぬ事業を減らしたい。三位一体の改革や平成の大合併を急ぎ、歳出削減をしないと08年の国債の大量償還ができなくなる。加えて団塊世代の公務員の退職がこの時期に重なる。こういった財政的背景をNPOも理解しておく必要があり、補助金や委託金に依存した運営はもう長くはもたない。

協働を進めていく際の市民団体の情報開示が不十分だという行政の不安・不満、その団体を選ぶ合理的根拠をどこに求めたらよいかという声が全国の行政職員からあるとのことで、市民団体側に活動の実績が十分にあり、行政が後から関わりを持つようになった協働事例が紹介されました。それらの中には、行政の抱える課題を民が関わることで解決できると提案した例もあり、行政を変えるのは市民の継続した活動であるとの思いを更に強くしました。

協働についての基本的な考え方、進め方に関する調査の結果、上記の事例が掲載された『企業・行政とNPOのより深い協働をめざして』は経済産業省の補助金が財団を経由したものを受けて作成されましたが、補助金と同額を負担し調査は行われました。報告書の販売や、テキストとして使用する講座を行う権利が受託契約書に盛り込まれました。対等性を強調し、調査の協働事業の受託者としては成果物の活用に責任があると考えられたからです。

報告書の販売や研修での収益は、自己負担した額に到底及ぶものではないが、協働を正しく理解してもらうための道具として優れているから、研修と共有が我々の役割と考えているから。と語る川北さんはこの受託事業に於いても「協働」を実践しています。

『都道府県、主要市におけるNPOとの協働環境に関する調査』は全国ランキングをつけるものではない、協働の制度化だけでなく、その全行程を通じて協働の理念がつながり、実践されているのか、他自治体を参考に改善のヒントを得て欲しいと行われました。

感想、質疑応答など

Q(NPO). 組織全体、他都市に伝えていくキーパーソンの必要性を感じる。

A. 部・課長研修やNPOと行政職員と一緒に研修を受ける機会を設けるなど、協働について一括で理解を深める場を積み重ねていく必要がある。

Q(NPO). NPOとしての自立の定義は?

A. 意思決定の自由と経済的基盤。持続性を求めるなら、自律だけでなく周りからの共感が得られ他団体と連携できる力が必要である。

Q(行政). 協働は本当に対等・協力の関係か?

A. 委託・補助は対等ではない。分野によっては行政より市民団体の方が先駆的に取り組んでいる事柄がある。それに対して敬意を払えるか、尊敬できるかはとても大きい。

Q(行政). 協働の成果を客観的に見せる方法は?

A. 主催者、受託者が自己評価し、受益者からコメントをもらい、不十分な場合第三者評価となろう。比較対照の可能性を想定していない場合はなすべきことがなされたか、協働として効果があったかである。評価はランク付けではなく、継続的に行ったり、形を変えて行う場合の、課題を明らかにすることである。

Q(行政). 協働のきっかけはどこに求めたらよいか?

A. 市民の「協働のたね」と行政の「悩みのたね」のマッチングのイベント(浜松市)や、協働コーディネーターに相談する方法もある。コーディネーターは行政語・市民語・企業語を話せることが必要である。私の経験からすると対価は双方からいただくか、全くいただかないか。対価より人脈が広がることの方が大きい。

紙面の都合もありますが、敢えて導入と質疑応答に止めました。一部を取り上げるより今回テキストとして使われ、協働について体系的にまとめられた『企業・行政とNPOのより深い協働をめざして』(630円)をお読みいただきたかったからです。

行政の皆様には各部署に1冊『都道府県、主要市におけるNPOとの協働環境に関する調査』(5,300円)を備え置くことをお勧めします。

『企業・行政とNPOのより深い協働をめざして』(630円)

『都道府県、主要市におけるNPOとの協働環境に関する調査』(5,300円)

下記URLにて購入できます。インターネットをお使いになれない方はFAX申込み用紙をお送りします。お問い合わせください。

<http://www.iihoe.com/>

TEL 011-204-6523 FAX 011-261-6524 報告 北村美恵子

こんなにもあった！2005年度NPO関連予算公開学習会報告

3月12日(土)13:30~16:00 札幌市ボランティア研修センター 参加者40名

東京の支援団体、NPO法人NPO推進ネット専務理事の高比良正司さんを講師に迎え、国の予算の仕組みや予算書の見方を学びました。

2002年度1,300億円、04年度3,000億円、05年度4,000億円とNPO関連予算だけは増え続けている。ところがNPOにとってはこれだけの助成金や委託が届いている実感がない。実態は省庁の外郭団体、その支部と既存の公益法人に多くは流れていた。担当毎に組まれた予算は、省庁内ですらお互いの情報をつかむことなく、地方にも縦に流れる。横断的に活動するNPOにとって情報を得ることの困難さはここにあった。中央省庁の情報発信は不十分だが、情報収集能力を高め、ニーズに合わない事業を待つより企画段階から積極的に関わることが必要であろう。

NPO推進北海道会議の佐藤事務局長は「道は北海道市民活動促進条例、北海道協働推進基本指針、NPOへの業務委託推進方針と装置はつくってきたが、魂は入っていない。行政との協働で魂を入れよう」とまとめた。

報告 北村美恵子



コミュサポ地域交流会～in札幌～報告

札幌広域圏(石狩支庁管内)8市町村で地域サポーター13団体とホームページ作成希望の110団体が参加して、コミュサポ事業を展開してきました。本年度のまとめとして、主に札幌地区の参加団体を中心とした「コミュサポ地域交流会」を3月13日(日)10時から17時まで札幌エルプラザで行いました。

当日は30団体70人が参加し、ホームページのプレゼン、『これからの協働事業の取組み』をテーマにした佐藤隆さん(NPO推進北海道会議事務局長)の講演、広域圏組合の輪島さんから「この事業は来年度もホームページ作成支援希望団体を募ると共に、『まちづくり活動支援事業』として活動奨励金を交付する支援も構想している」という事業構想発表などがありました。また15時30分から広域圏組合管理者の上田文雄札幌市長も参加し、「楽しいコミュサポホームページコンテスト結果発表&表彰」が行われました。広域圏組合賞を受賞したクマガラをはじめ、13の受賞団体に上田文雄管理者とNPOサポートセンター杉山さか系理事長からトロフィーと記念品が渡され、和やかに終了しました。(報告 小林董信)

【受賞団体】

札幌広域圏組合賞[いしかり森林ボランティア『クマガラ』]

オンラインコミュニケーション賞[札幌映画サークル]

アイデア賞[浜益村観光協会]

タイトルデザイン賞[ヒッポファミリークラブ北広島]

プレゼン賞[サロン・マーマリード]

リンク賞[千歳菊友会]

ラプリー賞[石狩市民図書館とあゆむ会]

インパクト賞[劇団STEP]

がんばった賞[千歳美術協会]

地域サポーター特別賞[特定非営利活動法人

地域生活支援グループ共働友楽会]

特別賞[わかば町文庫]

特別賞[NPO法人 日本理美容福祉協会 札幌センター]

特別賞[嬉楽]



上田札幌市長、杉山サポセン理事長と受賞団体のみなさん

2004年度コミュサポ地域サポーター団体

【石狩地区】ひとまちつなぎ石狩、デザイン工房 葡萄の木(当別)、コミュサポNET はまます(浜益)

【北広島地区】北広島ITネットワーク 【恵庭地区】Zoo System Support

【千歳地区】ちとせ市民まるちねっとの会 【江別地区】epoc(エポック)、豊幌倶楽部

【札幌地区】シニアマスターズネットワーク、共学舎、福祉・医療・市民インフォメーション、

羊蹄ヒューマンネットワーク、PCNET、ナルク札幌中央

NPO起業科 **団塊世代向け**コースのお知らせ

「2007年問題」という話題が持ち上がっています。戦後生まれの団塊世代が定年退職の時期を迎えます。3年先のことを今から考え、「定年後の楽しい生き方」を模索しませんか。すでに退職された60代前半の方にも役に立つ講座を企画します。

昼間コース 6月の土曜4回(4日、11日、18日、25日)午後1時～4時

夜間コース 6月の火・金曜6回(7日、10日、14日、17日、21日、24日)
午後6時30分～8時30分

会場 北海道NPOサポートセンター研修室(札幌市中央区北5西6札幌ビル8階)

講師 NPO推進北海道会議/北海道NPOサポートセンター/
NPOサポート専門家会議メンバー予定

定員 20名(最小催行人員10名)

受講料 12,600円(消費税・資料代・実地研修交通費込み)

カリキュラム(予定)

第1日 アイスブレイキング

第2日 講義「社会的起業のススメ」講師:NPO推進北海道会議佐藤隆理事・事務局長

第3日 実地研修「N-Power ツアー」NPO活動拠点の見学(3～4カ所予定)

第4日 起業・事業化、ボランティアなど生きがいプラン作成シミュレーション

夜間コースは第1日と第2日の内容を3日間、第3日と第4日の内容を3日間で実施します。

申込み 土曜コースか夜間コースかをご指定ください。ご住所・お名前・年齢をご記入の上、以下まで。FAX 011-281-8807 e-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

切 5月28日(土)

問合せ 電話011-271-5208 (担当:松本、山本)

サポセンスタッフの落書きコラム

突然ですが、「2007年問題」ってご存知ですか？

コンピュータの数字が狂う！それは2000年問題。私も最初聞いた時は、何が狂うのかなぁ～なんて思っていました。戦後の第一次ベビーブーム世代、いわゆる団塊の世代が定年を迎え、大量退職が始まるという問題です。

さて、この「2007年問題」、大量退職によって単に企業の力が低下するという問題ばかりではありません。退職した団塊の世代の受け皿がないという側面もあります。

せっかく専門技術や磨かれたビジネスセンスがあるのに、やることなくして老年性引きこもりや、外でプラプラしている人が溢れてしまっただけでは、とても健全な社会とは言えませんよねえ～。

そこで、数年後に定年が控えているみなさまにご提案です！

定年後は、ぜひ私どもNPO業界？に入ってみませんか？

私どもの業界では、あらゆる分野の事業にかかわっていただける人材をいつでも求めておりますし、自ら起業することもご提案しております。

「そんなこと言っただけで、なかなかきっかけがつかめないよ・・・」というあなた！(NPO情報をお読みになっているので、そんなわけないと思いますが・・・)

そんなあなたに、サポセンでは6月に「NPO起業科 団塊世代向けコース」をご用意致しました。

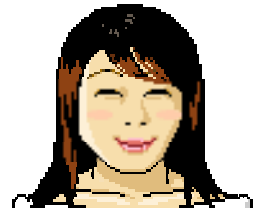
詳しくは、上記をご覧ください。みなさまのご参加をお待ちしております。

(松本 公洋)

予告 NPO推進北海道会議と北海道NPOサポートセンターの通常総会を5月28日(土)午後4時半から開催する予定です。会場は「北海道クリスチャンセンター」(札幌市北区北7条西6丁目)です。

NPO研修日記

2004年度 その12



濱市朝子

「新しい窓」

昨年の春、サポートセンターに来て初めて名刺を交換した相手はアイルランドからの研究者でした。それから1年。国内のみならず、今日も世界のあちこちでNPOが活躍しています。

サポートセンターでの毎日はとても刺激的で、毎日がドラマチックに過ぎていきました。定まった枠にとらわれない自由な発想と展開、そして様々な角度からの視点。知らず知らずのうちに自分がいるんな「枠」の中でしか物事を考えていなかったことに気が付きました。物事を見る時、沢山の窓(=視点)を持ちたいというのが自分のポリシーですが、この1年でその窓が増えたと自信を持って実感できます。研修は終了しますが、私にとってはこれは終わりではなく、始まりの第一歩です。この1年の経験は、これから行く先々の部署で私を支え、つき動かす大きなエネルギーとなるに違いありません。こんな貴重な経験をさせていただいたサポートセンターの皆様から心から感謝の気持ちで一杯です。また、この1年間に会ったNPOの皆様からはたくさんの「元気の素」をいただきました。一年間この拙い研修日誌を読んで下さった皆様にもお礼申し上げます。

なお、私の後任として4月からは谷口直子さんが来ます。こちらもどうぞよろしくお願いたします。

1年間ありがとうございました。

NPOバンク融資申込みのお知らせ

第11回融資申込期間 4月19日から5月6日まで / 融資実行 6月中旬～下旬

第12回融資(予定)申込期間 8月上旬 / 融資実行 9月下旬

*融資申込みに際して必要な書類は下記 URL から取り出せます。

NPOバンクに対する問い合わせ先・資料請求先

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2F

北海道NPOサポートセンター内 TEL:011-204-6523 FAX:011-261-6524

Eメール:npo-bank@npo-hokkaido.org http://npo-hokkaido.org/bank_hp/index.htm (担当:北村)

特定非営利活動促進法に基づく申請受理数および認証数、不認証数等

内閣府ホームページから <http://www5.cao.go.jp/seikatsu/npo/data/pref.html>

全国の申請受理数「内閣府・北海道含む」 2月28日現在 (内閣府のホームページ)	受理数	認証数	不認証数	解散数
	22313	20707	130	341
道内の申請受理数 2月28日現在 (北海道)	受理数	認証数	不認証数	解散数
	806	782	0	11

北海道内のNPO認証状況は道庁HP <http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-bssbk/npo.index.htm>

予告 5月28日(土)午前10時～午後4時 詳細は5月号で

介護福祉 NPO 法人スタッフ研修会 北海道クリスチャンセンターにて

全道でNPO法人約70事業所が介護保険事業及び支援費事業を行っています。専門家の講演と先駆事例を持つ実践者をパネリストとするパネルディスカッション、分科会等を併せた研修会を開催します。介護保険制度見直し、移送サービス、支援費制度見直しなどの分科会を設定。

参加費：700円(資料代として) 参加者：福祉NPO法人スタッフなど100名予定

【北海道新聞社会福祉振興基金助成事業です】

『あなたが創る、まちづくり読本』差し上げます

『あなたが創る、まちづくり読本』 (全48P)

2004年度、北海道NPOサポートセンターでは、文部科学省より、「生涯学習分野におけるNPO支援事業」を受託し、まちづくりサポート事業を実施してきました。

その事業の一環としてまちづくりに関する冊子を作成しました。希望される方には無料で差し上げます。お役立てください。まちづくり活動を実践活動に移していく上でのヒント集としてもご活用いただけます。是非ご一読ください。

費用 無料(ただし、送料をご負担ください)

●送料●1部=160円/2~3部まで=210円

申込み・問合せ先 住所・氏名・団体名・希望部数・電話番号を電話、FAX、emailのいずれかでお知らせください。郵便振替用紙を添えて発送いたします。後日、送料をご入金ください。

特定非営利活動法人北海道NPOサポートセンター
TEL011-204-6523 FAX011-261-6524

Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp

(担当:吉元、北村)

●もくじ●

1章 環境とまちづくり

自分が生活する場所ってどういうところ?

伝えたいメッセージ

私たちが取り組めること

2章 自分たちが住むまちを知ろう!

地域を見つめるワークショップ

地域を見つめてみてきたこと

3章 想いを形にする!実践活動への手引き

活動を続けていく上で必要になること

活動リーダー・ファシリテーターの

スキルアップ

地域の中でまちづくり活動を実践しよう

・コミュニティマップづくり

・地域ポータルサイトの企画づくり

4章 おしまいに

アイスブレイキングのための

アクティビティ集

「札幌市介護保険・福祉サービス 事業所ガイドブック」2004年版

好評発売中!

A4判(470ページ) 定価2,000円(税込み)



札幌市内の介護保険・福祉サービス事業所1,457箇所及び札幌市内にサービス提供する市外事業所(名称、住所等の基本情報のみ)札幌市在宅介護支援センターの情報を掲載しています。

本誌の内容は、サービス提供地域・時間、人員体制、利用料、系列サービスなど情報が満載です。介護保険事業所は在宅・施設サービス、対象外事業所は在宅系のホームヘルプ、理美容、配食、ミニデイ、移送、施設系の養護老人ホームなど各事業所(今年から生活支援ハウスも掲載)を網羅し、充実したガイドブックとなっています。

【問合せ】北海道NPOサポートセンター E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

TEL 011-204-6523 FAX 011-261-6524

NPO推進北海道会議 設立10周年記念のつどい

「NPO推進北海道会議」は、1995年5月17日に設立されました。今年で設立10周年となります。10年前は、阪神大震災、地下鉄サリン事件が起きた年として記憶されます。以降、NPOの認知度を高め、社会に根付かせるべく活動してきました。この間、北海道NPOサポートセンター、北海道NPO越智基金、北海道NPOバンク等、必要な機能を持ったNPOを創出してきました。

この度10年を記念して、お祝いの集いを企画いたしました。ささやかですが楽しいひとときを一緒に過ごしませんか。みなさまぜひ参加しましょう。

日時 2005年5月28日(土)18時~20時

会場 北海道クリスチャンセンター2階ホール(札幌市北区北7条西6丁目)

参加費 5,000円(一人)

参加申込/問合せ 電話011-204-6523 北海道NPOサポートセンター(北村)

北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」紹介 04年度改訂版

北海道NPOサポートセンター会員に対するサービス事業です。

詳細については個別にご相談に応じますのでお気軽にお問い合わせ下さい。電話011-271-5208

北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」一覧 (単位:円,税込)

サポートの内容	詳細	規格・単位	基本料金
NPO法人申請手続 法人申請は時間がかかります。(4ヶ月~6ヶ月)	相談・書類作成等アドバイス(初回相談無料)	基本料金	21,000~
身分証明書作成	ラミネートを使った身分証明書を作成します。	1枚	210
印刷(予約制) 黒インク印刷のみ (カラー印刷、製本等は 良心的な印刷所を紹介)	簡易印刷機(リソグラフ)で印刷します。 基本料金は製版1枚、紙代込みの場合です。 (厚紙や色紙は少し高くなります。 ご相談ください) A3まで印刷可、10枚以上~(両面は片面の倍)	片面 B5 1,000枚	2,738
		片面 A4 1,000枚	2,738
		片面 B4 1,000枚	3,438
		片面 A3 1,000枚	4,838
名刺作成	パソコンで名刺を印刷します。(100枚単位) 片面初版代:315円、 両面初版代:525円が別途かかります。	片面 カラー	1,470
		片面 白黒	1,050
		両面 カラー	2,310
		両面 白黒	1,890
横断幕・ポスター	パソコンで長尺紙(幅42cm)に印刷します。	片面のみ	1,575~
シール	NPOのロゴマークシール 1シート	大5枚、小10枚 各	210
エプロン	ロゴマーク、事業所名を入れてエプロンを作ります。	5枚以上 1枚	4,515
日常会計業務支援	パソコンで、伝票入力から決算書作成まで実施	基本料金(1仕訳)	63~
介護保険・支援費指定事業所 申請事務サポート	指定事業所になるための支庁・市役所提出書類作成、 提出までのサポートを行います。	介護保険 1事業所	10,500~
		支援費 1事業所	7,350~
介護保険料請求事務	伝送による介護保険請求をします。	1事業所	2,625~

2004.7.1 改定

上記の表以外に、不動産売買・賃貸、税務申告、登記書類作成、損害保険、FP関係について、NPOサポート専門
家会議メンバー等による相談を随時受け付けております。(サポセンスタッフが聞きし専門家にお伝えします)
法人認証申請書類、登記書類、会計書類、税務申告、介護保険申請等は、必要に応じてNPOサポート専門家会議メ
ンバーの専門家のアドバイスをいただいています。NPOサポート専門家会議は、弁護士、司法書士、社会保険労務
士、行政書士、公認会計士、税理士、損害保険専門家、不動産鑑定士、不動産専門家、建築士、社会福祉士、FPな
どの専門家が参加しています。

NPO推進北海道会議 / 北海道NPOサポートセンター / NPOバンク / NPO越智基金
〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階
電話番号 011-204-6523, 011-242-4333 FAX番号 011-261-6524
通常業務時間 10:00~18:00(土、日、祝日は休む時があります)

北海道NPOサポートセンター相談センター・研修室 / NPO推進北海道会議分室
〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階
電話番号 011-271-5208, 011-281-5927 FAX番号 011-281-8807
通常業務時間 10:00~18:00(日、祝日休み)

もうすぐ春です。引越しの季節到来 引越し・旅行・車検のことなら「**札幌**」は**はこび愛ネット**をご利用ください! ご存知かもしれませんが、飛んでけ! 車いすの会をはじめ札幌チャレンジドなど10団体ほどが参加しているもので、札幌さんの商品を利用して、「NPOサポセンに還元して!」と言うと商品代金の5%が還元される仕組みです。どうやって利用するの? 申し込みはとても簡単。下記の「はこび愛ネット」推進事務局にお電話ください。インターネットからの申し込みもできます。利用サービスは、引越し、旅行(札幌トラベル) 車検・自動車修理(札幌自工) と文房具(札幌商事)などの購入です(一部対象外あり)。ぜひご利用ください。

問い合わせ・申し込みは 札幌「はこび愛ネット」推進事務局

TEL(011)251-4111内線250番 FAX(011)231-7063

書籍案内

NPOが北海道を変えた。

道州制と市民自治へのチャレンジ
 編集工房 NODE [編]
 インテリジェント・リンク [発行]
 四六版 288 頁 ISBN4-902806-00-2
 定価 [本体 1800 円 + 税]

北海道 NPO サポートセンターで取り扱い中
 主な内容

高橋はるみ北海道知事インタビュー
 座談会「道州制と NPO」
 新しい NPO 時代に向けての対論・提言
 地域を支える NPO42 の事例紹介
 本書を推薦します

上田文雄 / 札幌市長

NPO は地域再生、地域創造のエンジンになるべきである。北海道の NPO がいかに地域を変え、地域を元気にしてきたことか。本書が紹介する成功事例は、元気なまちづくりと元気な生き方を求めるものに多くの示唆を与えることになる。

逢坂誠二 / ニセコ町長

道州制論議と NPO の現状を知る、決定版

北川正恭 / 前三重県知事

これからは BY THE PEOPLE で！！

イベント報告

札幌チャレ 5 周年記念パーティーのお知らせ

札幌チャレンジドは設立 5 周年を迎えます。これまで支えてくださった方への感謝、今後の更なる飛躍への願いを込めて、5 周年記念パーティーを開催します。皆さまの参加をお待ちしています。

日時 2005 年 5 月 29 日 (日)

12 時 ~ 14 時 30 分

会場 京王プラザホテル
 (札幌市中央区北 5 条西 7 丁目)

参加費 5,000 円

100 チャレ (500 円) まで使用可

申し込み 4 月 1 日 (金) ~ 5 月 20 日 (金)

メールまたは電話で、お名前と電話番号をお知らせ下さい。札幌チャレ事務所ではチケットも取り扱っています。

札幌でライブ活動をされている神山慶子さんのステージもあります。

問い合わせ先: NPO 法人 札幌チャレンジド

TEL 011-261-0074 FAX 011-219-1811

Eメール challenged@npohokkaido.jp

http:// www.npohokkaido.jp/challenged/



コンサート チャリティコンサート 夏をうたう

3 歳から 18 歳までの難病の子ども達の夢をかなえるお手伝いをしているメイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン (MAW) です。リュート (古楽器) を伴奏に 2 人のソプラノが「大きな古時計」「この広い野原いっぱい」など、耳になじんでいる楽しい曲をさわやかに歌います。MAW の活動紹介も行います。

日時 2005 年 6 月 18 日 (土) 14 ~ 16 時

会場 北海道難病センター 3 階大会議室
 札幌市中央区南 4 条西 10 丁目
 TEL 011-512-3233)

前売り券 1,000 円 当日券 1,200 円
 小学生は無料

(収益は難病の子どもたちのために使われます)

小出 あつき (ソプラノ)

大熊 麻友美 (ソプラノ)

網澤 充 (リュート)

MAW J 札幌支部 〒060-0005
 札幌市中央区北 5 条西 6 丁目札幌センタービル 23F
 ブルデンシャル生命保険㈱内

Eメール sapporo@mawj.org

http://www.mawj.org/

TEL 011-219-7111 携帯 080-5181-4111

平日午後 1 ~ 4 時

コミュニティラジオ案内

81.3 MHz 「さっぽろ村ラジオ」

さっぽろ村コミュニティ工房連携

NPO 番組スタート

春の改編で活躍中の NPO が制作または参加する番組が増えました！！

ゆけゆけコンカリ (火: 20:00 ~ 21:00)

コンカリーニョ

進め! 札幌 VO (水: 20:00 ~ 21:00)

札幌 VO

エゾロック (仮) (木: 20:00 ~ 21:00)

ezorock

札幌チャレラジオ通信

(金: 20:00 ~ 21:00) 札幌チャレンジド

さっぽろ散歩 (土: 17:00 ~ 18:00)

さっぽろ自由学校「遊」、札幌建築鑑賞会、

旧小熊邸倶楽部 ほか

この件に関するお問い合わせ先

さっぽろ村ラジオ (担当: 加藤・藤江)

札幌市東区北 12 条東 13 丁目 2 - 28

TEL 011-723-8130

情報BOX

札幌市ボランティア研修センター
 「わかる地域福祉講座」 参加費 無料
 会場：リンケージプラザ2階（札幌市中央区北1西9）
 4月5日（火）10：00～12：00
 「地域福祉の動向と今後の方向性」ボラ研所長
 「介護保険時代の地域のあり方」旭丘センター長
 4月6日（水）10：00～12：00
 「NPOによる新たな地域づくり」小林董信
 「住民主体による地域のまちづくり活動」川本俊憲
 問い合わせ 札幌市ボランティア研修センター
 電話 011-223-6005
 =====
 NGO難民を助ける会25周年特別報告会
 4月10日（日）13：00～
 かでの2.7/520研修室 参加費500円
 スマトラ沖大地震・インド洋大津波への支援活動でスリランカ入りしたスタッフからの報告を交えて、NGO活動の理解促進に役立つ内容です。
 問い合わせ/申込 03-5423-4511
 =====
 札幌市・札幌商工会議所 チャレンジショップ
 新規出店者募集 狸小路4丁目の商店街サロンで、新規創業にチャレンジしてみませんか？
 応募された方の中から、選考会によって4人までの出店者が選ばれます。出店者は毎月開催される経営アドバイス（無料）を受けていただきます。
 募集対象 業種は小売業、サービス業を主とします。20歳以上で、初めての店舗経営を目指す方。札幌市内での開業を目指す方。毎日責任を持って店頭に立てる方。
 出店条件 家賃は1小間25,000円/月（共用部分込み3.5坪。光熱費その他は別途）期間は05年6月2日（木）から06年3月15日（水）までの約10ヶ月間です。
 出店までの流れ 4月11日（月）、12日（火）事前説明会
 ・出店計画作成のために是非出席してください。
 申し込み
 ・締め切りは4月18日月曜日（当日消印有効）
 問い合わせ 札幌商工会議所創業支援課
 電話 011-231-1768
 =====
 ライジングサンロックフェスティバルで活動アピールしませんか？
 全国から音楽ファン6万人以上が集まる今年で7回目となる屋外ロックフェスティバル。
<http://rsr.wess.co.jp/2005/index.html>
 今年で6回目となるNPO・NGOエリアを展開します。
 □5月上旬に説明会を行いますのでご参加下さい。
 開催日：8月19日（金）～21日（日）
 土曜日はオールナイト
 ところ：北海道石狩湾新港野外特設ステージ
 主催：（株）wess
 アースケア：A SEED JAPAN・ezorock
 詳細はお問い合わせ下さい。
 mail：Chihiro.Yamagami@ma5.seikyoku.ne.jp
 PHS：070-5607-8838（山上）
 =====

さっぽろ自由学校「遊」企画連続講座 「NGO・NPOを再考する」

NGO・NPOは国家や自治体、企業とどのような関係にあるべきなのか、市民社会の構築に本当に役立っているのか、そもそも既存の組織と何がどのように異なるのかなど、NGO・NPOの存在のあり方を今一度問い直し、向かうべき方向性を検討していきたいと思えます。

- 5月20日（金）開講 全5回 金曜 18：30～20：30
- 会場：さっぽろ自由学校「遊」ほか
- 受講料：一般：5,000円 会員・学生4,000円
（単発 一般1,500円 会員・学生1,000円）
- 共催：北海道NGOネットワーク協議会、北海道NPOサポートセンター、さっぽろ自由学校「遊」
- 問合せ：NPO法人さっぽろ自由学校「遊」
〒060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目愛生館ビル2F-207
TEL 011-252-6752 / FAX 011-252-6751
【E-mail】syu@mbp.sphere.ne.jp

第1回 5月20日（金）

【公開パネルディスカッション】

～ 概論～ NGO・NPOはどこへ向かうのか

●パネリスト

- 高橋 清貴（日本国際ボランティアセンター／東京）
- 日置 真世（地域生活支援ネットワークサロン／釧路）
市民活動団体の方（札幌）

- 会場：札幌市男女共同参画センター（札幌エルプラザ内）大研修室

- 進行：小泉 雅弘（さっぽろ自由学校「遊」）

活動分野、地域、手法が異なるNGO・NPOの方々から、自分達の活動から見えるNGO・NPOの諸問題についてお話いただき議論します。ここでの内容は2回目以降の講座の問題提起となります。

2回目以降の日程とテーマ（予定）

- 日程：6月17日（金）／7月15日（金）
8月19日（金）／9月9日（金）
- テーマ（予定）～各論～ NGO・NPOと市民の距離
NGO・NPOは、市民からどのように認知されているのでしょうか。市民主体の活動であるNGO・NPOの根本を考えたいと思えます。

助成金情報

インターネット環境にないNPOのみなさまへ～「助成金を申請したいが、情報を上手く収集できない」という声を良く聞きます。

最近の助成金は、募集要項や応募用紙をインターネットから取得（ダウンロード）する方式が増えていきます。また、さまざまな助成金情報をインターネットから取得することができます。

北海道NPOサポートセンターでは、インターネット環境にないNPOの為に、IT推進NPOの紹介 パソコンの導入設定・インターネット環境整備支援 助成金情報取得支援/助成金申請サポートを行っています。（地域によって対応できない場合があります）詳細はお問い合わせください。電話011-204-6523（担当：畑）
下記の助成金情報についてはインターネットからの取得情報（抜粋）です。

インターネット環境にないNPOのみなさんに、募集要綱などのFAXサービスを行います。

(NPO推進北海道会議または北海道NPOサポートセンター会員へのサービスです。)



ろうきん(北海道労働金庫)
社会貢献助成制度

2005年度助成 助成金総額 700万円

1団体当たり30万円(上限)

助成の対象

北海道内に所在する以下のいずれかの条件を満たす団体で、北海道ろうきんに助成金受領口座として団体名義の普通預金口座を開設しているか、もしくは今後開設できること。

- (1) 非営利市民活動を主たる目的としている団体
(NPO法人格の取得の有無は問いません)
- (2) 地域の福祉活動・市民活動の振興等に努めるボランティア団体(任意団体を含む)
- (3) 過去2年間、本助成制度により助成を受けていないこと。

福祉系NPOへの助成を総額の5割程度とします。
助成金の使途等: 活動や事業に必要な直接経費の他、助成額の30%まではスタッフ等の人件費も含めることができます。

助成期間

単年度助成です。(原則として、2006年5月末までに終了する事業を対象とします)

応募〆切 4月25日〔当日消印有効〕

応募及びお問い合わせ

〒060-0001 札幌市中央区北1条西5丁目

北海道労働金庫 社会貢献制度事務局

TEL.011-271-2101(代)

FAX.011-221-6846

北海道NPOサポートセンターにも応募要項があります。(担当:北村) TEL(011)204-6523

FAX(011)261-6524

損保ジャパン

NPO法人設立資金 助成応募要領

- 1.対象者 社会福祉の分野でNPO法人の設立を計画している団体
但し、平成17年度中に設立認証申請を行うことを原則とします。
- 2.活動内容 障害者、高齢者を対象とした、主として在宅福祉に関する活動
- 3.助成金額 1団体 30万円。本年度の総額は未定(平成16年度実績は69件)
- 4.資金使途 法人設立に関する費用であれば使途は問いません。

(注)会合費、人件費、器材費その他一切使途は問いませんが、平成17年度末の段階で助成金の支出明細表をご提出いただきます。

- 5.申込方法 添付の申込書に記載の上、下記へ郵送
平成17年4月1日(金)より、4月30日(土)まで
(当日消印有効)

[事務局]〒160-8338 東京都新宿区西新宿 1-26-1

損保ジャパン本社ビル 37階 損保ジャパン記念財団社会福祉助成係 FAX 03-5322-5257

- 6.選考方法 6月開催予定の選考委員会による選考を経て、7月上旬の助成を予定しています。
- 7.選考基準 過去の活動実績を重視します。障害者福祉活動団体を優先します。団体としての将来性、事業の将来性を考慮します。団体としてNPO法人化の合意が得られた団体を優先します。出来るだけ全国各地の団体に助成するため地域性を考慮します。
- 8.その他 助成金交付後NPO法人の設立を取りやめた場合、その状況により助成金のご返金を求める場合があります。

生命保険協会

「子育て家庭支援活動」実施計画

小学校就学前の子どもの子育てをしている保護者等を対象に子育て支援活動を行っている民間非営利の団体・グループ(以下、「団体等」)に資金援助を行う。(対象地域は全国)

4月4日から5月28日まで(予定)、公募方式で応募受付。助成対象団体選考9月上旬発表。

助成金額は1団体当たり上限30万円、助成総額は1,200万円以内

社団法人 生命保険協会 広報部

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目4

番地1号 新国際ビル3階

電話 03 3286 2643

FAX 03 3286 2730

ホームページ <http://www.seiho.or.jp/>

NPO法人 NPO推進北海道会議

代表理事 田口 晃 (北海道大学教授)

杉岡 直人 (北星学園大学教授)

杉山さか系 (北海道グリーンファンド理事長)

事務局長 佐藤 隆

NPO法人 北海道NPOサポートセンター

理事長 杉山さか系 事務局長 小林董信

NPO法人 北海道NPOバンク

理事長 杉岡 直人

NPOバンク事業組合 理事長 高木 晴光

NPO法人 北海道NPO越智基金

代表理事 田口 晃

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目
クワガタビル2F

TEL(011)204-6523 FAX(011)261-6524

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

URL <http://npo-hokkaido.org/>

相談センター/研修室

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目

札幌ビル8階 TEL011-271-5208

FAX011-281-8807